

学部共通科目（A群～E群）

学部共通科目は、大学生としてだけでなく、社会人としても不可欠な、広く一般常識をもってしっかりと思考する能力を身につけるための講義・演習科目群と、芸術・デザインを専門とする学生が身につけるべき美術芸術科目群によって構成されています。知性と感性を含めた心的能力を高める科目群（A群）、コミュニケーション能力を高める科目群（B群）、こころと身体を健康を高める科目群（C群）、文化・芸術の科目群（D群）、自己を見つめ社会への視野を開く科目群（E群）の5つの群から構成されています。

学生の皆さんは、いったん自分の専門分野から離れ、各群の多彩な科目の中から、自分の興味関心にしたがって主体的に科目を選択し、それらの科目の背後に広がる多様な学問的視点や知見を学び取ることによって、学生としての基礎的教養力を自分のものにすることができるよう。また、そうした能力を、努力し身につけることによって、自分の専門分野をさらに究め、飛躍していくための土台を築くことにもなるでしょう。

A群 知性と感性を高める科目群

A群の科目は、学生がゆるぎない知的教養と鋭敏な感性を身につけ、さらにそれを磨くことができるよう、さまざまな分野のものの考え方や見方を提供することを目的としています。したがって、この群は、現代の文化・社会・自然科学にかかわる基本的学問によって構成されています。

A群は、選択の講義科目ですから、必要単位を上回る単位数をとることが可能ですし、自由に選択できる単位数の範囲内で履修することができます。したがって、学生の皆さんが、自分の関心に基づいて自主的に科目を選択し、積極的に授業に参加することが期待されます。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

人間と文化、社会のしくみ、科学と自然について幅広く学び、知性と感性を高める科目で構成する。

B群 コミュニケーション能力を高める科目群

外国語を含めた言語、コンピュータ、異文化等の学習はコミュニケーションを成立させるのに役立ちます。外国語は、外国人とコミュニケーションするための、また、異文化を知るための主要な手段ですが、直接外国人との接触に役立つものであり、外国語の独特の論理を知ること、異質な論理、すなわち、異文化を知ることができます。

また、コンピュータはもはや言うまでもなく生活、仕事に欠かすことのできない必須のツールです。コンピュータ・リテラシーを身につけることで、生活、仕事におけるコミュニケーション能力を向上させることができます。

異文化学習は、自民族文化中心の視野狭窄から解放し、異文化共生のための視点をもたらし、異文化とのコミュニケーションに役立ちます。

これらのコミュニケーション関連の科目によってもたらさせる知識は、美大生が社会に出てから、また海外で活動するときに、きっと役立つものであると確信しています。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

基礎的、教養的、実用的な外国語、異文化理解、コンピュータ能力の習熟によって、美大生にとって今日社会的に要求されているコミュニケーション能力を高める科目で構成する。

C群 こころと身体を健康を高める科目群

C群は、こころと身体に関する知識を深めることで、生涯を通して健やかで充実した生活を送り、QOL（生活の質）の高い日々を実現していくための基礎的な能力を養うことを目的としている科目群です。丈夫でしなやかなこころと身体があればこそ、創作意欲も湧き、エネルギーな制作活動も可能です。また、人生100年時代を豊かに生きていくためには健康であることはもちろん、困難に直面した際にはそれに対応する心身の余力が必要となるでしょう。自身のからだを自身で育むために必要な知識と実践方法を身につけていきましょう。

開講科目と履修について

C群には、演習系科目の「健康科学」「スポーツ演習A～D」と、講義系科目の「精神保健」「心身医学」があります。

※演習系科目

「健康科学」は、実技（運動）だけでなく講義も交えた演習で、心身の健康に関する理論と具体的な実践方法を併せて学習することができます。

「スポーツ演習」は、実技（運動）を中心に、健康づくりのための具体的な実践方法を学ぶ演習です。取り組むスポーツや内容によってA～Dの4つに分けられていますので、詳細はシラバスを参照してください（A：各種スポーツ、B：競技性の低いレクリエーションスポーツ、C：フィットネス系、D：集中授業）。なお、スポーツ演習はアルファベットが同じでも科目名が異なれば（例えば、「スポーツ演習A バドミントン」と「スポーツ演習A バドミントン・テニス」、2単位の修得が可能です。詳しくは本冊子の「履修上の注意」を参照してください。（P.34参照）

抽選科目について

※演習系科目

「健康科学」「スポーツ演習」共に、履修申請した科目の希望者が定員を超えた場合は抽選が行われます。抽選に漏れた場合は空きのある科目にのみ再申請をすることができます。

※講義系科目

「精神保健」「心身医学」は講義系科目のため定員はありません。

評価について

※演習系科目

「健康科学」「スポーツ演習」は、実技の技術レベル（運動能力）や上達度は全く関係ありません。全時間出席を前提とし、学習内容の理解度や授業への参加態度（学習意欲・積極性など）を重視します。やむを得ない理由での欠席は、「健康科学」は8回まで、「スポーツ演習」は4回までを限度とし（集中授業を除く）、この回数を超えて欠席をした場合は評価の対象となりません。

※講義系科目

「精神保健」「心身医学」は、授業回数の3分の2以上の出席回数の者を評価の対象とします。

C群演習科目時間割（杉並キャンパス）

		月	火	水	木	金	土
1時限	前期					健康科学 小川 30名	
	後期						
2時限	前期			健康科学 鈴木 30名			
	後期		スポーツ演習C ストレッチ&コンディショニング 関口 30名			スポーツ演習C トータルフィットネス 小川 30名	
3時限	前期		スポーツ演習C トータルフィットネス 関口 30名	スポーツ演習B レクリエーションスポーツ 鈴木・小川 30名			
	後期			スポーツ演習A バドミントン&卓球など 小川 30名			
集中授業			スポーツ演習D ボディメイクa 鈴木・小川 8名 相模原キャンパス	スポーツ演習D ボディメイクb 関口・渡邊・蛭間・小川 12名 杉並キャンパス			

C群演習科目時間割（相模原キャンパス）

		月	火	水	木	金	土
1時限	前期		健康科学 鈴木 35名	健康科学 関口 35名	健康科学 蛭間 35名	スポーツ演習C ストレッチ&コンディショニング 渡邊 35名	
	後期					スポーツ演習C トータルフィットネス 渡邊 35名	
2時限	前期		健康科学 鈴木 35名	健康科学 関口 35名	スポーツ演習C ストレッチ&ヨガ 蛭間 35名	スポーツ演習C ストレッチ&コンディショニング 渡邊 35名	
	後期				スポーツ演習C ストレッチ&コンディショニング 蛭間 35名	スポーツ演習C トータルフィットネス 渡邊 35名	
3時限	前期				スポーツ演習C ストレッチ&ヨガ 蛭間 35名	スポーツ演習C ストレッチ&コンディショニング 鈴木 35名	
	後期				スポーツ演習C ストレッチ&コンディショニング 蛭間 35名	スポーツ演習C トータルフィットネス 渡邊 35名	
4時限	前期		スポーツ演習C トータルフィットネス 鈴木 35名			スポーツ演習C ストレッチ&ヨガ 小川 35名	
	後期		スポーツ演習B レクリエーションスポーツ 鈴木 35名			スポーツ演習A バドミントン&卓球など 小川 35名	
5時限	前期		スポーツ演習C トータルフィットネス 鈴木 35名		健康科学 小川 35名	スポーツ演習C ストレッチ&コンディショニング 小川 35名	
	後期		スポーツ演習B レクリエーションスポーツ 鈴木 35名			スポーツ演習A バドミントン&ソフトバレーなど 小川 35名	
集中授業			スポーツ演習D ボディメイクa 鈴木・小川 22名 相模原キャンパス	スポーツ演習D ボディメイクb 関口・渡邊・蛭間・小川 6名 杉並キャンパス			

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

身体活動（運動）を通して基礎体力を育み、身体の機能やこころと身体の関連性を学び、生涯を通じて健やかな生活を送るための健康管理能力を高める科目で構成する。

D群 文化・芸術の科目群

全学科・専攻・領域の学生を対象に、それぞれの専門分野で応用可能な知識と能力を修得することを第一の目的に、文化・芸術に関わる以下のような性格をもった多彩な講義科目を配置しています。

1. 美術やデザイン、アートを学ぶ上でもっとも基本となる科目
2. 各学科・専攻・領域の専門分野に共通するテーマ性を備えた科目
3. 各分野の専門性を深めるとともに視野を広げる科目
4. これからの社会と文化・芸術のあり方を見据えた先端的テーマを扱う科目
5. 創作活動のバックグラウンドとなる理論構築をサポートする科目

以上の枠組みを背景として構成されたこれらの科目の履修については、学生が自由に選択することで美大生にふさわしい幅広い“美術教養”を学修することはもちろんのこと、組み合わせによって専門性を高めることもでき、大学院での理論研究に展開させることも可能です。

女子美生として自らをデザインするように、学生一人ひとりがその個性に合わせてカリキュラム作りを行ってください。

(なお各学科・専攻・領域では、一部の科目を必修・選択必修として指定していますので注意してください。)

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

美学・美術史、色彩や素材、図学など、それぞれが専攻する専門分野で応用可能な基礎的知識と能力を習得する科目で構成する。

E群 自己を見つめ社会への視野を開く科目群

本学は1900年に「芸術による女性の自立」、「女性の社会的地位の向上」、「専門の技術家・美術教師の養成」を建学の精神として創立されて以来、これらの建学の精神に基づく教育を行ってきました。学部共通科目の中でこれを特に意識した科目群が、「自己を見つめ社会への視野を開く科目群」（E群）です。

この科目群には、現代社会において女性が家庭人、社会人、そして地球市民として今日の社会にどのような貢献をなすことが可能なのかを考える科目、社会や企業が求める環境・共生・文化を基盤とした地域社会貢献に関する科目、国際的感覚を持った美術の専門家あるいは美術科教員に必要な素養を養う科目などが準備されています。

今日、社会は基礎的・専門的な教養はもちろん、環境や共生などをキーワードに地域社会に貢献できる素養を求め始めています。そのような素養を身に着けるためには、美術に関する専門的な教養をもとに、自らが主体的に活動することが必要となってきます。このことを視野において、学生自らが参画する授業、共生社会と美術との学際的視点の涵養を目指します。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

社会の中での女性のあり方、異文化の中で芸術を表現する国際的感覚、自分の未来像（キャリア）をデザインする能力を習得する科目で構成する。

		科目名			単位	年次	形態	科目名			単位	年次	形態	単位計
学部共通科目	A群	◆人間と文化						◆社会のしくみ						6
		哲学	学	2	1～4	講義	法	学	2	1～4	講義			
		歴史	学	2			日本国憲法	2						
		文	学	2			政治	学	2					
		音	楽	2			社会福祉	学	2					
		文化人類学	2		現代社会概説		2							
		教育原論	2	1	学生涯学習概論		2	1						
		教育心理学	2	2	◆科学と自然									
		青年心理学	2	1～4	数理学		2	1～4	講義					
				生命科学	2									
				心理学	2									
	B群	◆外国語コミュニケーション						中国語Ⅰ	2	1～4	演習	美術学科芸術文化専攻6※2 ◆外国語コミュニケーション2単位選択必修含む		
		英語Ⅰ	2	1～4		中国語Ⅱ	2	2～4						
		英語Ⅱ	2	2～4	※1	日本語Ⅰ	2	1～4						
		英会話A	2	1～4	※1	日本語Ⅱ	2	2～4						
		英会話B	2	2～4	◆情報リテラシー									
		フランス語Ⅰ	2	1～4	芸選	コンピュータ入門A	2	1～4	演習					
		フランス語Ⅱ	2	2～4	芸選	コンピュータ入門B	2							
		フランス語Ⅲ	2	3・4	◆異文化理解									
		イタリア語Ⅰ	2	1～4		コミュニケーション論	2	1～4	講義					
		イタリア語Ⅱ	2	2～4		比較文化論	2							
		イタリア語Ⅲ	2	3・4		言語学	2							
		ドイツ語Ⅰ	2	1～4		異文化理解	2							
		ドイツ語Ⅱ	2	2～4										
	C群	ヴィ健康科学	2	1～4	演習	精神保健	2	1～4	講義	2				
		ヴィスポーツ演習A	1			心身医学	2							
		ヴィスポーツ演習B	1											
		ヴィスポーツ演習C	1											
		ヴィスポーツ演習D	1											
	D群	美西洋美術全史	4	1～4	講義	デザイン史	2	1～4	講義	12				
		西洋美術史特論A	2			デ工環境論	2							
		西洋美術史特論B	2			造形心理学	2							
		美日本美術全史	4			色彩学	4							
		日本美術史特論A	2			美術解剖学A	2							
		日本美術史特論B	2			美術解剖学B	2							
		東洋美術史概論	2	3	演習	立/美教図学A	2	1	講義					
		東洋美術史特論	2			立/美教図学B	2							
		芸必古美術研究	2			書道	2		演習					
		美学	2			文化遺産学	2							
		現代美学	2			ユニバーサルアート研究	2							
		芸術学	2			1～4	講義	学博物館概論	2		1		講義	
		日本近代美術論	2	1～4	講義			学博物館展示論	2		2			
		現代美術論	2					学博物館教育論	2					
	E群	◆初年次教育科目								サービス・ラーニング	2		1～4	演習
		必基礎学習ゼミ	2	1	講義	◆キャリア教育科目								
		◆女性としての視座						キャリア形成A	2	1～4	講義			
		ジェンダー論	2	1～4	講義	キャリア形成B	2							
		シエンタールアート入門	2			キャリア形成C	2	2～4						
		歴史の中の女性	2			キャリア形成D	2							
		女性と法	2					インターンシップA	1	3・4	実技			
		◆						インターンシップB	2					
		芸術文化政策論	2	1～4	講義	インターンシップC	3							
		芸術と知的財産権	2			インターンシップD	4							
国際留学プログラム		2												
国際芸術演習A		1	演習											
国際芸術演習B	1													

必 …E群「基礎学習ゼミ」は1年次必修科目。

美 …美術学科の必修科目。

立 …美術学科立体アート専攻はいずれか2単位選択必修。

美教…美術学科美術教育専攻の必修科目。

芸選…美術学科芸術文化専攻はいずれか2単位選択必修。

芸必…美術学科芸術文化専攻の必修科目。

デ工…デザイン・工芸学科は学科共通科目の選択科目になります。

ヴィ…デザイン・工芸学科ヴィジュアルデザイン専攻はいずれか2単位選択必修。

（詳細は該当専攻・領域の「カリキュラム表」参照。）

教 …教職課程指定科目。

学 …学芸員課程指定科目。（学芸員養成課程履修の条件を満たす場合のみ履修可。P.104～106参照。）

※1…B群「日本語Ⅰ」「日本語Ⅱ」は外国人留学生のみ履修可能。

外国人留学生は「日本語Ⅰ」2単位、「日本語Ⅱ」2単位の計4単位必修。

※2…美術学科芸術文化専攻はB群の「外国語コミュニケーション」の英語科目から4単位を選択必修とし、6単位以上を修得すること。

<履修上の注意>

A群

「生涯学習概論」は学芸員養成課程履修者のみ履修できます。

B群

<外国語コミュニケーション>

外国語科目の授業は、原則、1クラス、定員30名（英会話は定員20名）で行います。「英語Ⅰ」を履修する1年次の学生は、通常の履修登録画面から登録を行ってください。

「英語Ⅰ」以外の外国語については、Web抽選にて履修者を決定します。指定の期日までに、ポータルサイトで抽選希望登録をしてください。

(1) 卒業に必要な単位について

外国語科目を**最低2単位修得**することが必要です。外国語は英語、フランス語、イタリア語、ドイツ語、中国語から選ぶことができます。日本語は、留学生のみ履修可能です。

(注) 芸術文化専攻は英語科目から4単位選択必修です。

(2) 卒業に必要な単位以上の履修について

卒業に必要な単位は2単位ですが、4単位以上履修することが可能です。例えば、卒業に必要な単位として英語Ⅰ（2単位）を履修する他に、（2つ目の）英語Ⅰ（2単位）、英会話（2単位）、あるいは、他の外国語（フランス語、ドイツ語、イタリア語、中国語）から選び、履修することが可能です。（ただし、2科目めは定員に余裕のあるクラスの場合に限ります。）

(3) どの授業を履修するか決める

○「英語」

- ・英語Ⅰ：初回授業で実施する英語テストの受験結果ごとに指定されます。
- ・英会話：ネイティブの先生や日本人の専門家による英会話の授業です。

○「フランス語」、「イタリア語」、「ドイツ語」、「中国語」

これらの科目は1年次に、フランス語Ⅰ、ドイツ語Ⅰ、イタリア語Ⅰ、中国語Ⅰを開設します。

○「日本語」

外国人留学生は「日本語Ⅰ」2単位、「日本語Ⅱ」2単位の計4単位は必修です。

C群

- ・開設されている科目の中から卒業までに合計2単位以上になるように選択して履修してください。修得単位の合計が2単位を超える場合は、超えた単位数を学部共通科目の卒業所要単位に算入できます。

※演習系科目

- ・「健康科学」は2単位、「スポーツ演習」は4単位までを修得の上限とします。また、アルファベット（A～D）が同じでも、科目名が異なれば（例えば、「スポーツ演習A 卓球」と「スポーツ演習A 卓球・バドミントン」）最大2単位まで修得できます。
- ・履修人数に制限がありますので、Web抽選を行います。ポータルサイトで抽選希望の登録をしてください。抽選に漏れた場合は、空きのある科目にのみ再申請することができます。
- ・「スポーツ演習D （ボディメイクa）」は相模原キャンパス、「スポーツ演習D （ボディメイクb）」は杉並キャンパスでの実施です。開講場所に注意してください。なお、この2つは科目名が異なります。

※講義系科目

- ・履修人数の定員はありませんので申請はWeb履修登録（4月9日（土）17:00まで）のみでかまいません。

◇演習系科目の抽選方法

Web抽選（4月7日（木）10:00まで）で履修時限が決定しますので、ポータルサイトで抽選希望の登録をしてください。

D群

「博物館概論」「博物館展示論」「博物館教育論」は学芸員養成課程履修者のみ履修できます。

E群

「基礎学習ゼミ」は1年次必修科目です。